



また、地域や関係機関との連携として、公的機関の嘱託医やストレスマネジメント、セカンドオピニオンとしての活動を行ったり、熊本県警の犯罪被害者支援、熊本県犯罪被害者支援センター、児童相談

所、ごもL.E.C(情緒障害児短期治療施設等)との連携を行ってまいりました。犯罪被害者本人や家族の初期対応や治療もさせていただいております。私自身におきましては、日本臨床催眠学会のファシリテーター(上手)C Pも同ファシリテーターとして活動してまいりましたが、昨年EMDRのファシリテーター(日本で10人目、九州でただ一人に認定され、また、臨床催眠資格も取得できました。トラウマ関連では、熊本県警や熊本県犯罪被害者支援センター、こちらの電話ボランティア養成講座、熊本県福祉相談所での対心法やPTSDなどについての講演を、更に公的機関ではストレスケアとして講演やワークショップを定期的にさせて頂いております。他に、熊本で初めてPTSDと認定された裁判も担当させていただきます。この様な活動ができるのも、皆様のご支援のおかげで、当院のスタッフの理解と協力、サポートによるものだと思います。

平成19年、仁木病院は更に変化を歩いていく計画があります。今後更に忙しくなりそうですが、健康に注意しながら(10kgダイエットしました)皆に愛される病院作りをしていきたいと思っております。今年も引き続き、職員共々宜しくお願い申し上げます。

皆様のご健勝をスタッフ一同お祈り申し上げます。

**昨** 年は仁木病院を暖かく見守りかつご理解頂き誠に有り難うございました。皆様には大変お世話になりました。平成18年を振り返ると、医療制度、精神保健法をはじめ様々な改正や見直しながされ、医療界は年々厳しい立場になってまいりました。この時代の変化に上手に対応できるように、仁木

# この木なんの木 今年の木



仁木病院院長  
仁木 啓介

病院長もイメージ、ハード、内容と出来ることからチャレンジを行い変化してきました。スタッフも増え充実し、ユニフォームも変わり、ハード面として栄養課が新しくなり、デイケアが広くなり、子どもの治療のためのプレイルーム、地域生活支援課の相談室がオープンと盛りだくさんでした。皆様のご支援のおかげで相談室も何とかならうとチャレンジでき、スタッフも大忙しです。

また、鹿児島大学教授の松木繁先生のご指導も受けてまいりました。ケースカンファレンスばかりではなく、患者様と接する機会が多い精神保健福祉士や心理士、医師に対して「ミニコミュニケーション」技術の向上のための教育もこなして頂いております。

更に、催眠療法、EMDR(トラウマ治療)、動作法などの認知も広がりを見せ、地元ばかりではなく、沖縄、鹿児島、宮崎、大分、福岡、北九州、長崎、山口、兵庫、神戸、大阪、福島など広い地域から当院に患者様が治療に訪れるようになりました。外来患者様の平均年齢もかなり低くなり、10代の患者様も増えてきました。

# 仁木病院広報誌 そよ風通信 新春特別号

■発行/仁木病院 ■院長/仁木啓介  
■発行日/平成19年1月1日[第4号]



仁木病院の基本理念  
仁木病院は、患者様の心を癒し、社会で安心して生活が出来るように手助けをします。患者様、ご家族、地域の方々に寄り添った、家庭的で心の通った医療とサービスを提供します。



# 秋祭り 平成18年10月22日

## 主な年間行事

月	行事
1月	初まり
2月	いちご狩り
3月	ぜんざい会
4月	ミニバレー大会、花見見学
6月	熊精フェスタ
8月	花火大会
10月	熊本市精神病院Tボール大会、秋祭り
11月	クリスマス会

今年もいろいろな行事を予定しておりますので皆様の御参加お待ちしております。又、御意見等ありましたらレク委員まで声かけてください。

## 仁木病院秋祭り に関わって

平成17年より秋祭りを開催して、昨年は2回目であり、初回は場所の確保が難しく、店舗会場とイベント会場とふたてに分かれて行い、少しはらけた感じがありました。今回はグラウンド(職員駐車場)広場を利用して、店舗とイベント会場が一緒になり一体感を持つことが出来ました。

病院の大きなイベントとしては今まで秋の運動会がありました。しかし患者様の高齢化と共に運営が困難となっており、新しい取り組みをとの院長のかけ声に昨年から秋祭り実行委員会を立ち上げ議論を重ねていき取り組みが出来るまでになり、昨年は、ここにかかっています。でした。昨年から地域の方達との交流を深めていく事を目指して一部ではありますが広報宣伝を行ったりもしました。今後も、地域に根ざした、を掲げて、宣伝等の活動も行い、多くの地域の方々にご来場いただきながら、病院へのご理解とご鞭撻、ご支援を頂ければと考えております。秋祭りへご参加いただいた方々並びに、実施開催に向けて実施協力いただいた関係者の方々に対しお礼の言葉としたいと思います。

ありがとうございます。

秋祭り実行委員会 運営委員長 松尾ヘッド



## 事務からのお知らせ

今年も1年お世話になりました。仁木病院の年末年始の診療に関しましては年末は、12月29日(金)の午前中(受付11:30まで)まで、年始は1月4日(木)より診療開始とさせていただきます。来年も宜しくお願い致します。

## 編集後記

編集委員 高藤 利早

この時期、あたたかいものにほっとする幸せを、他のどの季節より強く感じられるように思います。あたたかい部屋で、心の通い合ったあたたかい人たちと、あたたかい料理を囲む...幸せです。仁木病院の広報誌「そよ風通信」も、この1年間、たくさんの方々のあたたかい励ましに支えられ、号を重ねる事が出来ました。編集者一同深く感謝しております。今年も、仁木病院の様々な表情を皆様に伝えていけるよう努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願致します。それでは皆様、厳しい寒さは続きますが、お身体に気をつけて...また次号の「そよ風通信」でお会いしたいと思います。

広報委員 津崎事務長(委員長) 矢形(デイケア) 川上(業務課) 小川(外来) 高藤(栄養課) ミツ石(事務課) 秋成(デイケア)

**看護部長 松尾 あきえ**  
昨年は看護部にとって大きな変化がありました。ユニフォームの革命です。院長はじめDr.達の意向もきっかけとなりました。良かったと思います。これからも常に笑顔で、ユニフォームのよく似合うナースを目指したいです。

**地域生活支援課 課長 片山 淳一**  
昨年4月より、相談室のスタッフの増員と、心理棟の増築によって、今まで以上に外来・入院患者様及びご家族からのご相談は元より、地域の方々や関係各機関から様々なご相談を受けることができました。微力ながら何らかのお役にたつたのではと感じる一方、スタッフそれぞれが一層の研鑽が必要と痛感した1年でもありました。皆様のごころの平穩を祈念しつつ年始のご挨拶とさせていただきます。

**薬務課 課長 村上 陽子**  
「いつもお薬ありがとうございます」という患者様のお言葉に心が和む瞬間があった一方で、お薬に対してマイナスイメージをとがらむ瞬間があった。主治医の先生とじっくり話し合うことで、ご自分に最適なお薬がきつとみつかると思えます。私達もお力になりたいと思っております。

**～設備管理課を知ってほしい～  
設備管理課 小林 新字**  
平成18年10月1日設備管理課が発足しました。スタッフ4名で、日々施設の環境改善を目標に、業務を遂行しています。特に、患者様やご来院の皆様へ安心、かつ快適な場を提供できるよう、設備の点検整備、院内の美化を心がけ、明るい病院を目指して努力しています。また、常に感謝の気持ちをもって業務に邁進して行きます。

**訪問看護 花野 章子**  
当院の訪問看護は去年の8月より専任1名を置き、病棟・PSW協力のもとに支援の充実を図っている。しかし、その専任は患者様の笑顔を見たくて、幅広く患者様の生活を見つめる視野を持つ、他職種との連携を上手に取る・五感をフル回転した看護の実施、と気持はかりが先行。自分の原意も忘れ患者様で、脂汗を流している情けない状態である。訪問の合間トイレを貸して下さるコンビニさんに、感謝！感謝！

**OT課 作業療法士 近藤龍太郎**  
昨年、リハの専門学校を卒業したOT1年生です。まだ、医療業界はおろか、この病院のこともわかっていませんが、自分出来ることをひとつひとつ実現させていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願致します。



精神科・神経科・神経内科  
医療法人仁木会 仁木病院  
〒862-0920 熊本市月出4丁目6-100  
TEL 096-384-3111

受付時間 8:30～11:30/13:00～16:00  
診療時間 9:00～12:00/13:00～17:00

※ストレスケア外来(要予約)  
※ストレスケアカウンセリング(要予約)

休診日 土・日・祝祭日(水:予約のみ)  
※緊急の場合は、その限りではありません



